月水金

薬事日報社

東京本社 〒101-8648 東京都千代田区神田和泉町1 ☎ (03) 3862-2141 版 (03) 5821-8757 大阪支社 〒541-0045 大阪市中央区道修町2-1-10 ☎ (06) 6203-4191 版 (06) 6203-4191 賊 (06) 6203-4191 賊 (06) 4233-3681 購 読 半年19,764円 (税込) 1年36,234円

きょうの紙面

薬剤費総額の改定率 など議論……2 西日本セルフMフェア 131社が出展… 🛭

中間年改定見送りを

労組団体が訴え…图 特集 3~6 〈薬大案内〉

本号8ページ



日本海総合病院で電子処方箋モデル事業をPR

う。患者の混乱を避けるた 局が電子処方箋管理サ め、最初の段階は病院と薬 モデル事業では2段階に

協力患者である副院長1人 モデル事業に強く関与して 検証し、3週目から電子処 を対象にシステムの運用を 万箋を発行する予定だ。 安佐地域では薬剤師会が 同院は、最初の2週間は 事業を展開する。31日時点 システムを稼働する。 瀬病院と2薬局が先行して 参加を表明しているが、岩 では2医療機関、7薬局が 岩瀬病院が主導してモデル 福島県須賀川地域では、

にも同意書を置いてもら

協力施設を増やすこと

めにも、また相互医療機関

い。そこで、同院では薬局

| えるメリットはない。 患者

同

業後に苦労してしまう

への混乱を最小限にするた

は、おそらく学生の心に い思いをぶつけるだけで

処方箋発行をスムーズに行

も、早期のうちに多くの施

ラマになるのかもしれな

学生の意欲にどう火

課題であるからこそ、

の情報連携を進めるために

設に参加をお願いしたい」

千葉県旭地域では、

と呼びかける。

ことができれば、

全国の医

モデル事業で実績を示す

仕事の悩ましいところ

を付けるかは教員という

で患者の同意取得から電子

いる。地域住民へのコロナ 研修を実施するなど顔が見 たり、病院が薬局薬剤師の 剤師会から薬剤師を派遣し ワクチン接種の際に安佐薬 月10日から予定しているス しする。 連携に問題がなければ、 テップ2の運用開始を前倒 電子処方箋を利用する場 来

> は不測の事態が起こらない が参加を表明。スタート時 旭中央病院を中心に17薬局

よう初期対応店舗数を絞

の導入につながると期待は

療機関・薬局で電子処方箋

11

を用いた電子処方箋発行を 月下旬からHPKIカー 開始する予定。 6薬局が参加した。

据えて多くの医療機関や薬

主体となって患者に電子処

開始を知らない患者は多

施設稼働しても目に見

設からは、 の現状が聞かれた。オンラ していくことが難しいと 資格確認等システムや 協力施設を増や

の本格運用に間に合うのや薬局も多く、「来年1月

が完了していない医療機関 電子処方箋のシステム改修

薬局が主体的に電子処方箋を患者に案内するなど まった。 医療機関や薬局が広範囲に点在する広島 電子処方箋の運用上の検証や課題抽出等を目的 山形県酒田地域は来年1月に参加施 と薬局が連携した電子処方箋利用の患者同意取得 を推進するなど病院・薬局間の連携も強化する。 設の倍増を目指し、福島県須賀川地域は医療機関

電子処方箋管理サービス | 検証、優良事例の収集など を行い、電子処方箋のさら なる活用方策を取りまとめ 加。きょう31日から安佐市 る。モデル地域のうち、広 15施設と薬局39施設が参 カードを用いて電子処方箋 スで情報連携を行えるかを | 方箋の周知・案内を行って 民病院と薬局2施設が他施 を発行することとなってい 確認。次の段階でHPKI い、電子処方箋導入施設の増加に弾みを付けたい いる。 須賀川

いるのが特徴で、安佐市民 が多く、広範囲に点在して 他地域と比べて参加施設 「国が目指しているモー太会長も、「医師が処方の

い、医療機関が電子処方箋

年間にわたって運用面の 1月の本格運用に向け、 ムで取得可能となる。来 ステムを基盤に電子処方箋

オンライン資格確認シ

る」と期待する。 うに行動するかが問われ 視化されることで、どのよ 安佐薬剤師会の下田代幹

状況になってほしいが、今 まで見えなかったものが可

せる考えで進めている」

り、「来年1月の運用開始 や医師会に呼びかけてお 以降は、参加施設を倍増さ

するよう病院から薬剤師会

どうすればいいのか。 躍する姿を見据え、 の場凌ぎの学習では社会 識を修得してもらうには は同じなのかもしれない ◆薬剤師として現場で活 結局、

デルに近い地域だ」と強調

ライン資格確認の普及率は の役割については、「オン 医療機関よりも高い。重複

投薬等を自然に発見できる

る。オンライン資格確認を 等が参加する医療情報連携 導入済みの施設は全て参加 護サービスを提供してい スケアネット」で医療・介 ネットワーク 地域では、複数の医療機関 高齢化と過疎化が進む同 「日本海へル

思い出した。大学は社会 スに過ぎない。どの学問 家試験合格はそのプロセ 力を養う場所であり、 で活躍するために必要な ない」と語っていたのを ◆以前に、薬系技官が「大

る他の医療機関3施設、

理課情報システム係の佐々 る重複投薬等をゼロにした 木邦義情報システム主査は 局15施設に先駆けて先行的 究極的には確認ミスによ に運用を開始した。同院管 薬

がモデル事業に参加してい 本海総合病院と薬局2施設 だ。来年1月から始まる 科大学院を舞台にした月 が異議を唱えるー 試験合格だけを目指すべ

上で処方することになるた

強固になる」と話す

んな学生に「目先の国家 うとする。そ ばかりを学ぼ ず、即効性の 策しか考え あるノウハウ ◆国家試験対

>>> We keep the patient at the heart of everything we do.

私たちは、患者さんの明日のための治療法開発に貢献します。

患者さんの明日に、より良い変化をもたらすために。 社員の一人ひとりが、一つひとつの仕事に、まごころをこめています

パレクセル・インターナショナル株式会社設立 25 周年を迎えて

おかげさまで日本法人設立 25 周年、私たちは、これからも皆様に「もっと一緒に働きたい」 と思って頂けるよう、より一層のサービス向上に努めてまいります。日本における強固な臨床開発部、 経験豊かな薬事コンサルティングチーム、治験実施医療機関や患者さんとのパートナーシップ、これまで 培ってきた経験、ノウハウや深い洞察力により、臨床開発が、日本でもグローバルでも効率的に行えるよ うサポートいたします。

parexel